



練習不足を感じさせない迫真の演技を披露する部員ら
=日野町のベルホールで

三重高演劇部の自主公演

生徒と教師の交流描く

後援の市「客の年代幅広く、良かった」
駅前商店街

松阪市久保町の私立三

重高校演劇部(村上誠子 部長、3人)による第2
回自主公演「教学愛長☆

2005(市駅前通り

商店街振興組合後援)が

27日、同市日野町のベル

タウン内ベルホール(旧

近代劇場)で開かれ、2

回の公演で小学生から年

配者までの60人が、生徒

らの熱演を楽しんだ。

この自主公演は、年2

回の演劇大会以外にも発

表の場を作りたいと考え

た同部が、昨年から始め

たもの。今回は中学生が

足を運びやすい場所で、

舞台設備も整ったベルホ

ールを使用。後援する市

駅前商店街振興組合が会

場使用料を負担した。

今回、部員不足のため

土壇場で演目を変更した

にもかかわらず、部員ら

は約1時間も切れ間がな

い難しい作品を、短期間

で仕上げてきた。来場者

らは、教師と生徒の心の

交流を描いた心温まるス

トーリーに見入り、最後

には大きな拍手が起きて

いた。

2005.3

今回後援として部員ら
を手伝った振興組合の笠
原正一理事長は、「幅広
い年代の人に足を運んで
もらえたのが良かった。
今回の公演が、ベルホ
ールをたくさんの人たちに
利用してもらうきっかけ
になれば」と公演の成功
を喜んでいた。